

聖ヨハネ学園

後援会  
だより

32



2015年度新規採用者のみなさんとの記念写真です

発行：聖ヨハネ学園後援会  
〒569-1032 高槻市宮之川原2-9-1  
TEL&FAX 072-687-0548

## みんなの力で喜びにあふれた学園を



後援会長

西村 逸郎

最近の日本社会は、豊かになってきていますが、同時に、少子高齢化とともに、ご近所との交わりが年とともに希薄になっていっているといわれています。

こうした変化の中で、自分たちだけで、家族のニーズに十分対応できない環境が広がり、公的サービスや福祉施設に頼らざるを得ない事例が増えていると報じられています。

ヨハネ学園もこうした社会の変化に無縁ではありえず、限られた条件の中で、どうすればより良い対応ができるかをこれまで以上に考えねばならなくなっています。

学園では、今年も、3人の青年が巣立っていきました。

彼らは、数多くの職員のみなさんの日々のお働きに加え、数多くの社会経験豊かなボランティアの方々との交わりやご指導によって、大きく成長して社会に足を踏み出してゆきました。

ボランティアをしてくださったっている皆さんには、お忙しい日々の中で、それぞれのご経験を生かして、たとえば、子供たちの学習指導やピアノレッスンなどを、そして、幼い子供たちには、絵本読み聞かせ、紙芝居そして絵手紙の指導などをしてください。さらには、散髪や園内清掃・草刈などのさまざまなお働きによって、学園の日々を豊かにしていただいています。

またミスブル記念ホームでは、ご利用者との話し

相手となり、また、落語や読み聞かせ、そして、カラオケや童謡民謡とともに歌い、喫茶奉仕などで、楽しいひとときをつくりだしていただくなど、職員のみならずのご尽力とともに、より豊かに、こころ温まる日々がつくりだされています。学園のほかの施設においても、ボランティアのみなさんの、数多くのお力があってこそ、豊かな運営サービスができています。

これからの日々を、なお一層充実したものにしたいために、これからも、多くの皆様のお力添えが大切です。できれば、どのような経験を役立てることができかを、関心をお持ちの施設とご相談いただき、より多くのボランティアの皆さんにご支援をいただくことで、なお一層、心豊かな学園の日々が実現できますように、ご協力をお願いします。

聖ヨハネ学園

# 奨学金を受けた児童の報告 ならびに平成27年度の入進学状況

◎H25年度卒園生

O・S君は

土曜会奨学金制度を受け近畿大学理工学部に進学し、前期で必要な単位はすべて取得しスムーズに2年生に進級することができています。

みなさまからいただいた暖かいご支援への感謝の気持ちをお忘れことなく、今年も勉学に私生活に充実した日々を送ってくれることと確信しています。

◎在園生(高2)

F・Mさんも

希望した高校に進学し毎日、天王寺まで頑張って電車通学をしています。新しい環境下で苦戦を強いられ、1年間でしたが無事2年生に進学することができました。本年度は最終学年への大切な橋渡しの1年間です。

今後みなさまのあたた

## ☆聖ヨハネ学園土曜会奨学金制度とは…

昭和38年立教大学BSA(聖アンブレ同崩会)のメンバーが土曜会という集まりを通して高校進学、特に私学に進学する際の授業料負担に対しての奨学金支援を継続して実施していただいています。平成22年に土曜会の活動を発展的に解消され、学園に対して500万円を寄付金としていただきました。みなさまのご意旨を「土曜会奨学金基金」と

して学園の子どもたちの進学奨励金制度として発足しました。学園後援会からも賛同を得て、平成24年度から年間30万円を基金に拠出をいただいています。ここに「ご寄附いただきましたみなさまに感謝とお礼を申しあげます。今後子どもたちへのご支援をよろしく願っています。

ただけるようになり、職員も汗にまみれの介助から解放されています。

また、職員の福利厚生として、子供ができて安心して長く勤められる施設にするため託児所「エンゼル園」を設置しましたが、ホールの中に響く子供たちの笑顔や笑い声で、同じ建物の中で生活するご利用者の皆様にも、とつても刺激があつて、元気をたくさん頂くことができている。その託児所の遊具や絵本も貴重なご寄附より買わせていただきました。

## ご寄附いただき ありがとうございます

### ミス・ブル記念ホーム

ミス・ブル記念ホームではご利用者やご利用者の家族様から、施設の為に使って下さいとたくさんのご寄附をいただいています。

特にお亡くなりになったご利用者のご家族様からは、長年大変お世話になったとお礼の気持ちでご寄附を頂くことが多いです。そのため、この貴重なご

寄付は、ご利用者や職員のより良い生活の為に使いたいといつも心掛けています。一昨年は、トイレのエアコンに使わせていただきました。新しい施設には当たり前のようにトイレにもエアコンはついていますが、古い施設ではまずありません。高齢になると排泄時間も長

くなり夏場は汗を垂らしな



がらトイレで頑張っています。職員もご利用者と一緒に付き添い、汗にまみれながら介助をしています。そこで、エアコンをトイレに設置し、ご利用者様も冬は暖かく、夏は涼しい快適なトイレで用を足してい

このようにご寄附はいただいた皆様の気持ちを考えて有効に活用させていただきます。本当にありがとうございます。ミス・ブル記念ホーム 施設長 北川 勝

本部および各施設に

ご協力いただいた方々

〔敬称略〕

〔期間〕二〇一四年四月一日〜二〇一五年三月三十一日

《本部》

有限会社大港物流 渡壁忍  
相原 吉男  
赤山 英雄・孝子  
阿佐建築工務株式会社  
東 敏勝・直子  
石井 英隆 乾 キクノ  
井上 眞也・美津  
岩田幼稚園  
上野 勝子 上村サト子  
大阪教区川口基督教会  
大阪城南キリスト教会女性の会  
大阪聖パウロ教会 婦人会  
大阪保育福祉専門学校  
日本聖公会大阪教区連合男子会  
大阪連合男子会  
大洲幼稚園  
大段紀代子 大橋 一  
岡垣 智 岡本 勝  
片山 明美 片山富美子  
学校法人 海星学園  
門 淳子  
カトリック仁川教会  
株式会社橋本工務店  
木川田一郎 岸本 健次  
北野 絵美  
京都聖母学院中学校・  
高等学校生徒会

草ヶ江幼稚園園児一同  
楠本 義郎 久保 孝彦  
小出 裕司 小杉満寿美  
佐々木晶子 笹部 哲生  
佐藤 耕一 佐野 信三  
猿橋 靖  
彰栄学園 宗教委員会  
高野 節子 高橋 興史  
竹原 涼子 田中ハツ子  
田村 ゆみ  
東洋英和女学院中高校  
匿名 宗教委員会  
長崎南山学園生徒会  
中島 健三 中嶋 公平  
中野香津子  
名古屋柳城短期大学  
西田 明子  
西宮聖ペテロ教会  
西村 逸郎  
日学株式会社 大阪支店  
日本聖公会大阪教区婦人会  
野知 卓司・千秋  
裕 俊彦 長谷川輝男  
濱田 高盛 春名 恭子  
平岡 澄 廣政 博  
プール学院中学校・高等学校  
芳我 秀一 増田 知乃

松崎 汎邦 真庭 功  
水貝商店  
三森 尚子 箕浦 純子  
宮之川原女性会  
宗像千代子 本井 雄次  
森 英雄・貞子  
矢野 英子 藪内 正明  
山口 博子 山下 義一  
山野上素充  
吉川酒米販  
四葉幼稚園  
米満 司郎  
和田総合会計事務所  
九九件 一、五七六、五八九円  
和田浩孝

《聖ヨハネ学園》

高槻聖マリヤ教会  
石橋聖トマス教会  
堺聖テモテ教会  
アローム清水店  
大阪キリスト教短期大学  
株式会社フロリスト花正  
株式会社オーミヤ  
株式会社社万代  
有限会社荻防災設備  
高槻市母子福祉会  
ベールルージュ美容専門学校  
NHK歳末たすけあい義援金  
高槻市歳末たすけあい運動  
株式会社松栄産商  
植村トーフ店  
フリーマーケット123  
大阪成蹊短期大学

大阪愛徳幼稚園  
平安女学院文化創造センター  
古久保健ニチャリテイコンペ  
今枝 吾朗 大塚 賢一  
河瀬 隆 山下 義一  
金光 秀晃 森田 容子  
乾 キクノ 鈴木久美子  
本井 雄次 上村サト子  
大段紀代子 濱田 高盛  
八木 秀之 竹原 涼子  
三四件 一、三二七、二八五円

《ミス・プール記念ホーム》

窪田 満 栗山 禧子  
杉野 眞幸 乾 キクノ  
本間 良一 北野富士江  
大畑 俊一 森中 央  
前田 冬子 小西 淳一  
小西 孝子 正岡 祥孝  
王子 康三 佐野 智子  
近森菌科・近森信人  
菊池 和夫 佐々木輝男  
株式会社松栄産商  
岸本 善男 岩森かほる  
石津自治会  
王子 康三 本井 雄次  
米満 司郎  
有限会社荻防災設備  
二宮 英世 小川 素子  
松本 巖雄 山田 昌史  
小林 静子 松崎 汎邦  
中澤 晋 高谷ミサコ  
斉藤 修子 藤原美奈子

真田 育子 土屋 秋子  
四一件 一、七〇三、〇〇〇円  
一人2回寄付していただく  
ともあり、合計は表示の件  
数より多いです。

《地域生活支援センター光》

市川 正信 市川あや子  
今井 清信 江畑 誠  
加茂 勲 北野 絵美  
楠本 義郎 久保 茂  
小林 法司 小山 和良  
笹倉 健志 清水 幸子  
下川賀津美  
株式会社松栄産商  
杉 チエ子 副島 克彦  
副島 康子 高谷 秀夫  
高見澤 裕 太寄 幸二  
種本 浩司 瀧本 島子  
近森 信人 土井加代子  
土井 昭 中村 健  
中嶋 暁 西田 弘  
日本聖公会大阪教区婦人会  
久永 恵子 古高 真紀  
正宗 良則 松下 健太  
松下けいこ 松本 健  
松本美喜子 松本美奈子  
三崎 貴文 三崎 智美  
宮原 順子 宮脇 敏  
宮脇 弘次 本井 雄次  
柳澤 好輝 山尾 則夫  
山尾 朝代 吉村 一哉  
吉村 浩二 吉村 花枝  
四九件 二、九五二、二〇〇円

# 後援会にご協力いただいた方々

〈敬称略〉

(期間)二〇一四年四月一日～二〇一五年三月三十一日

- 相原 吉男
- 暁星小学校 シヤミナード会
- 赤山 英雄・孝子
- 秋山 公子
- 東 敏勝・直子
- 尼子 美喜 荒川 惇恵
- 荒川 不二 飯塚 和
- 飯原トヨ子 石田 美郎
- 石橋聖トマス教会
- 伊勢田 健
- 市川聖マリヤ教会
- 井上 眞也・美津
- 今井 清信・温子
- 今中 喜子 今村 隆行
- 上田 和徳 植田 仁巳
- 上田 孝徳 上田 浩子
- 上田 美和 上野 勝子
- 植松 誠 上村サト子
- 上村みちえ 宇野 徹
- 海野 晴男 梅原賀代子
- 大阪聖愛教会
- 大阪聖ヨハネ教会 女性の会
- 大段紀代子 大山 秩子
- 岡垣 昌子 岡野 俊夫
- 岡部 美枝 岡本 勝
- 小野 光雄 小牟田健三郎
- 影山 敬祐・章子
- 柏原 花子 片山富美子

学校法人 松蔭女学校

金光 秀晃

株式会社 愛弘

菅 やゑ子

楠 扶紀子

國吉 俊子

黒田 益弘

剣持 寛人・慰子

小出 裕司

米虫 克次

坂口 鳩子

笹野 美子

佐藤多紀子

北谷 公一

楠本 義郎

黒崎光太郎

小林 静子

小山 和良

桜井 揚子

佐藤 耕一

佐藤 房子



- 佐藤 勇治 佐野 信三
- 清水 幸子 上甲 幸子
- 諸聖徒幼稚園
- 白石 敏子 杉野 眞幸
- 鈴木

清心中学校・清心女子高等学校

聖バルナバ病院

聖ミカエル幼稚園

聖ルカ幼稚園

瀬戸 栄一 瀬戸 義子

高田須磨雄 竹林 徑一

田中ハツ子 田村 ゆみ

茶本 博史

銚子諸聖徒教会

槻本 邦夫

辻本 一馬・秀子

土屋 秋子 匿 名

匿 名 戸部 依子

富谷 晋 中芝 永次

中島 和子 中島 将雄

中西久忍夫 名出 敬

奈良慶治良 西村 逸郎

西村 正則・宣子

日本聖公会東京教区 聖パウロ教会

日本聖公会富山聖マリア教会

日本キリスト教会

西宮中央教会

野知 卓司・千秋

梅花幼稚園

長谷川輝男 春名 恭子

廣政 博 廣永 浩美

福永芽久美 藤岡 重子

藤幼稚園

- 古澤恵依子 古本純一朗
- 松下けいこ
- 松山聖ルカ幼稚園
- 真庭 功 丸田三枝子
- 南 知子 宮脇 弘次
- 宗像 弘子 本井 雄次
- 桃山キリスト教会
- 森 一太
- 森 英雄・貞子
- 八尾 恵三 藪内 正明
- 山口 博子 山下 義一
- 吉田 哲子 義平 雅夫
- 米満 司郎

一五〇件 七四〇・七二五円

## 平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日) 社会福祉法人 聖ヨハネ学園後援会 会計報告

後援会会費	114件	¥433,000
一般寄付金	28件	¥204,725
クリスマス寄付金	20件	¥103,000
合計		¥740,725

上記金額を、聖ヨハネ学園本部会計の寄付金収入に繰り入れました。

### 後援会《入会要項》

- 年間会費 ①個人会費 1口 2,000円 ②団体・法人会員 1口 10,000円  
いずれも、何口でもよろしくお願ひします。
- 入会方法 振り替え用紙でご送金いただくだけでも会員登録させていただきます。  
郵便振替口座=00910-5-5789  
加入者名=(社福)聖ヨハネ学園
- 寄付控除 ご寄付は次の法律により税法上の優遇措置が受けられます。  
所得税法第78条第2項第3号該当  
法人税法第37条第3項及び第4項第3号該当



### 「後援会だより」③

- 発行 社会福祉法人 聖ヨハネ学園後援会
- 〒五六一一〇三二 高槻市宮之川原二一九一
- 電話・ファックス (〇七二) 六八七〇五四八